

事業所名	フレンズジム南山田店		
保護者評価実施期間	2024年8月5日 ～ 2024年9月10日		
保護者評価有効回答数	(対象者数) 39名	(回答者数) 30名	77%
従業者評価実施期間	2024年10月14日 ～ 2024年10月31日		
従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数) 8名	100%
事業所向け自己評価表作成日	2024年11月30日		

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
安心安全な支援環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「年間安全計画」に沿って定期的に設備の安全確認や修繕箇所の確認を実施している。 ・活動内で児童の自己選択の機会を設けたり、実現に向けて段階的に取り組めるようサポートをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせでも、活動時の気付きやヒヤリハットを職員間で共有していくようにする。 ・活動プログラムの中で、個々の児童の特性を考慮しながらも、様々な経験が積めるよう、魅力的なプログラムの立案に努める。
利用者と保護者に対するサービス内容やお子さんの姿についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の申し送りや連絡帳にて、活動の様子を伝えるようにしている。また、支援方法やプログラム内容について、保護者にはいつでも質問してもらうよう案内している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より保護者の方に声をかけてもらいやすいよう、「何か気になることはありませんか?」「ご要望はないですか?」といった声かけを心がけていく。
利用するすべてのお子さんが参加できるインクルーシブな活動プログラムの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な発達段階や発達特性を持つ異年齢の小集団での活動を踏まえたプログラムの立案と提供をするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念にもある通り、フレンズジムでの活動が児童にとっての「ワクワク体験」になりえるよう、今後も職員が自己研鑽を積むとともに、チームで多くのアイデアを出し合いながらプログラムを作る。

事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
家族、きょうだい児向けの支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の中でのイベント数が少なく、必ずしも毎回きょうだい児向けには企画できていない状況である。また、人員体制によっては参加人数を制限することもあり、定期的な実施にはなっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回でも、家族きょうだい児を対象としたイベントを計画に組み込んでいく。
利用者と保護者に対して共感的に支援をする	<ul style="list-style-type: none"> ・肯定的な態度や傾聴を心がけることなど徹底してきたつもりでも、保護者の方が実感していただくことが重要であり、今一度それぞれの職員の意識を引き上げる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共感的な態度、支援について、学ぶ機会を事業所内で設ける。また、本人のニーズと保護者のニーズを丁寧に汲み取った上で、日々の支援内容へ組み込むことが必要である。
活動前後に職員同士で情報共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・特に放課後等デイサービスにおいて、全職員で集まる時間の無いまま送迎へ出ざるを得ない日がある。職員間の直接のコミュニケーションが少ないまま支援を行う現状には改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り事項などの情報共有については、プログラム内容の共有や、個々の児童の支援の目標について、運動時の介助についてなど、重要な点を共有できるように、打合せ方法を見直していく。ヒヤリハットについて、毎回声を掛け合い、確認と記録を実施する。